

授業科目名 (英文名)	専門基礎演習 (Second-year Seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	兎山 真也	所属	経済学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的：経済学部2回生が知っておくべき経済常識及びデータ分析手法を学び、またグループで協力して調査することを経験する。</p> <p>到達目標：経済常識を身につけること、データを用いた経済分析（実証分析）の基本を知ること、協力しつつ学ぶことを通じ簡単なアウトプットを出すこと。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経済常識を身につける 〔投資（資産運用）の基礎、日本経済新聞の読み方、財務3表の基礎など〕 2 経済学の実証分析の手法を学ぶ テキスト：唐渡広志 (2013) 『44の例題で学ぶ計量経済学』 オーム社（予定） Microsoft Excelを用いて分析手法を学べるように書かれた教科書。 マクロ経済に偏らずより身近な課題が例題として採用されている。 理論面も丁寧に説明されている。 3 経済活動の一端に触れる 企業等見学 2018年 ヤマト運輸 関西ゲートウェイ 兵庫トヨタ自動車 学園南店 2017年 ライオン 明石工場 2016年 カツヤマキカイ 本社 4 学び、考え、アウトプットを出す グループごとに政策や企業戦略に関する調査、共同レポート作成、発表・講評 2018年度 次世代自動車・自動運転車・安全運転支援機能について 禁煙政策（受動喫煙対策）について 2017年度 シェアリング・ビジネスにおける民泊の在り方～空き家民泊の促進にむけて～ 長浜市から三木市は何を学べるか（観光を通じた地域活性化について） <p>授業計画 (前期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介・ガイダンス 2. 文献検索と文献リスト作成 3. 図書館の活用方法 4. 投資(資産運用)入門1 (基本編) 5. 投資(資産運用)入門2 (実践・応用編) 6. グループ研究テーマの確定とグループ分け 7. 日経新聞を読む 8. 財務3表の基礎 9. グループ別打合せ 10. テキスト1 11. テキスト2 12. テキスト3 13. 企業見学準備 14. 企業見学 15. グループ別打合せ <p>(後期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. ガイダンス、グループ別打合せ 		

	<p>17. テキスト4 18. テキスト5 19. グループ研究中間報告1 20. グループ研究中間報告2 21. テキスト6 22. テキスト7 23. キャリアガイダンス 24. グループ別打合せ 25. テキスト8 26. テキスト9 27. グループ研究報告書仕上げ 28. グループ研究報告書仕上げ/発表準備 29. グループ研究報告書発表とディスカッション1 30. グループ研究報告書発表とディスカッション2</p>
テキスト	<p>唐渡広志 (2013) 『44の例題で学ぶ計量経済学』オーム社 ISBN 9784274069314 または、 小巻泰之・山澤成康 (2018) 『計量経済学15講』新世社 ISBN 9784883842742 (予定)</p>
参考文献	<p>必要に応じて紹介する。</p>
成績評価の基準・方法	<p>原則として全回の出席を前提とした上で、発表、レポート、積極的な発言、ゼミ運営への貢献などを総合的に評価します。</p>
履修上の注意・履修要件	<p>主体的かつ意欲的な発案、参加、運営を期待します。</p>
実践的教育	<p>該当しない。</p>
備考	<p>担当教員は交通経済学、都市経済学、費用便益分析などを講義しています。グループ研究はこれらに関するテーマを設定する見通しです。 統計学や計量経済学を専門としているわけではありません。</p>